

## 「大阪中之島美術館」



関西屈指の規模を誇る「大阪中之島美術館」が、この2月に開館した。

大阪の新たなアートの拠点となるこの新美術館は、1983年に大阪の実業家山本發次郎が所蔵する約600点を大阪市に寄贈されたのを受け、市が市政100周年記念事業として建設構想が持ち上がった。しかしその後、財政難などで計画は二転三転。およそ約40年を経てようやくオープンにこぎつけた。

収蔵品は、大阪ゆかりの名品を含む近現代美術コレクション約6000点。大阪出身の洋画家・佐伯祐三の「煉瓦焼」、「郵便配達夫」の他、特に有名なものとしてモデリアーニの「髪をほどいた横たわる裸婦」や、マグリットの「レディ・メイドの花束」など、貴重な作品が多数収蔵されている。

この新美術館は国内では初めて民間業者に運営権を移す「コンセッション方式」を導入して運営されている。地上5階建て延べ約1万8600㎡、5つの展示室やホールを備える。年間約50万人の入場を見込んでいる。総施設整備費は約156億円。

### INDEX ● 今月の内容◇

〔講演要旨〕「相続登記の義務化を盛り込んだ民法・不動産登記法の改正等」	2
〔講演要旨〕「生前贈与活用の留意点と改正動向」	21